

教育研究業績書

2025年10月20日

所属：健康・スポーツ科学科

資格：教授

氏名：伊東 太郎

研究分野	研究内容のキーワード
トレーニング学, バイオメカニクス, 運動制御学 (motor control)	ピリオダイゼーション, コーディネーショントレーニング, 筋電図動作学
学位	最終学歴
博士(学術), 教育学修士, 教育学士	大阪教育大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 「より良い授業方法の工夫と実践」に関する奨励	2016年8月19日	表題の事項について武庫川女子大学学長から顕彰を授与.
2. 運動生理学実験の導入	2006年4月～2011年3月	大阪青山大学管理栄養士課程「運動生理学実習」に、運動による身体各機能の応答を把握するために実験実習を導入。呼気ガス分析による最大酸素摂取量や無酸素性作業閾値の測定・基礎代謝測定・血中乳酸測定・ライフレコーダーによる身体活動量測定・心拍数測定・消費熱量計算・ヘモグロビン量測定・骨密度測定・筋力測定・運動疲労時の筋電図測定・インスリン感受性測定（経口ブドウ糖摂取後の血糖値測定）および筋電図測定などを導入。
3. 実験実習の導入	1987年4月～2006年3月	英知大学「体育講義」や「体育実技」に、運動生理学・バイオメカニクス実験を導入。運動中における心拍数測定、最大酸素摂取量測定、筋電図測定、運動処方作成、映像分析などを導入。
2 作成した教科書、教材		
1. 指導用資料の作成	1993年2月	日本一輪車協会大阪支部の依頼を受け、小学校体育教材の一輪車指導のための資料を筋電図および映像分析により作成。研究成果は英知大学論叢『サピエンチア』第27号・28号に発表の上、日本一輪車協会へ報告。英知大学体育実技（教職用）ではこれをテキストとして指導。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 陸上競技部 監督／副部長	2020年04月1日～現在	<p>U20全国陸上競技大会（400m&400mH二冠 中野菜乃、棒高跳 第3位 荻野紗英、三段跳 第6位 吉田真美）広島広域公園陸上競技場10月23-25日.</p> <p>2020 第97回 関西学生選手権大会 総合 第3位 73.5点, トラック24点第5位フィールド42.5点 第2位, 混成 7点 第3位. 10月20-23日.</p> <p>第104回日本陸上競技選手権リレー競技大会 横浜スタジアム 日本選手権女子 4x100mR(末石-河原林-山本-三村)10月14日-16日.</p> <p>第104回 日本選手権陸上競技大会 新潟デンカビッグワンスタジアム (出場選手成績：棒高跳 野志侑希12位)10月1日-3日.</p> <p>第30回関西学生対校女子駅伝競走大会 第12位 9月26日.</p> <p>天皇賜盃 第89回日本学生陸上競技対校選手権大会 新潟デンカビッグスワンスタジアム(総合13位(創部以来, 最高成績), フィールドの部第4位23点:入賞選手 走高跳 渡川和華1m75 第2位, 棒高跳 野志侑希 3m90 第2位, 三段跳 船田茜理 12m63 第3位, 齋</p>

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
2. 陸上競技部 監督／副部長	2018年4月1日2020年3月31日	<p>藤 遥 12m44 第6位) 2020年9月11～13日. 天皇賜盃 第88回日本学生陸上競技対校選手権大会 岐阜メモリアルセンター長良川競技場(総合38位, フィールドの部第16位 5点;特筆事項 三段跳 恵良和鈴 第4位) 9月12日-15日.</p> <p>秩父宮賜杯第72回西日本学生陸上競技対校選手権大会 西京極陸上競技(総合第9位 31点,トラック第10位11点, フィールド第6位 14点) 6月21日-23日.</p> <p>2019 第96回 関西学生選手権大会(総合 5位 75点,トラック24点7位, フィールド35点 3位, 混成 11点 2位)</p> <p>2019 第85回兵庫学生陸上競技対校選手権大会 総合優勝</p> <p>2018 第87回 全日本学生陸上競技対抗選手権大会 総合18位, フィールドの部 第6位入賞(特筆事項: 走幅跳 秦 澄美鈴 6m06 優勝), 混成の部 第8位入賞, 神奈川県等々力競技場2018.9.6-9.</p> <p>2018 第71回 西日本学生陸上競技対校選手権大会 総合6位,トラック8位, フィールド5位, 混成7位</p> <p>2018 第102回 日本選手権陸上競技大会(秦 澄美鈴 走幅跳 第2位6m08)</p> <p>2018 第95回 関西学生選手権大会 総合 3位 75点, フィールド 56点 2位, 混成 7点 2位</p> <p>2018 兵庫学生選手権大会 総合 準優勝</p>
3. 武庫川女子大学 陸上競技部 副部長 兼 跳躍パートコーチ	2013年10月～2018年3月	
4. 武庫川女子大学 陸上競技部 監督 兼 副部長	2013年06月19日～2013年09月08日	
5. 武庫川女子大学 陸上競技部 副部長 兼 跳躍パート(走高跳・走幅跳・三段跳)コーチ	2011年12月～2013年06月	
6. 大阪教育大学 陸上競技部コーチ	1986年08月01日～1988年03月31日	大阪教育大学陸上競技部において跳躍パートを中心にコーチング
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. Meister: KOORDINATIONSTRAINER (Universitat Leipzig)	2019年07月30日～現在	資格KOORDINATIONSTRAINERについて、ドイツライプツヒ大学よりマイスターの称号を授与された。
2. KOORDINATIONSTRAINER (Universitat Leipzig)	2015年03月03日～現在	コーディネーショントレーニング学(神経系トレーニング法)について、学問の発祥地であるドイツのライプツヒ大学において、その理論と実施方法の資格を取得。
3. 健康運動指導士	2005年07月～2015年03月	
4. 高等学校教諭(保健体育)一種免許	1985年03月	
5. 中学校教諭(保健体育)一種免許	1985年03月	
6. 小学校教諭一種免許	1985年03月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 地域貢献推進委員会	2021年4月1日～	

職務上の実績に関する事項				
事項		年月日		概要
4 その他				
2. 共通教育委員		2014年04月01日～2018年03月31日		
3. 諸資格対策委員		2012年4月1日～2013年3月31日		
4. 国際交流連絡協議会委員		2011年04月～2014年03月		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 第11回トレーニング科学・国際集中講座報告書	共	2015年11月	編集発行：公益財団法人ユーハイム体育・スポーツ振興会	分担執筆：「ライプチヒ・スポーツ科学史」，「負荷コンセプト” 負荷-荷重-パフォーマンス向上”」，「ちから能力とそのトレーニング（一般力 VS 専門力）」，「運動個体発生」，「オリンピック強化センター（OSP）訪問」，「ココトレ見学（ハンドボール；A ユース）」，「IAT（国立応用トレーニング研究所）訪問」（伊東太郎）
2. 人間科学の百科事典	共	2015年03月	日本生理人類学会編集（編集委員長 勝浦哲夫），丸善出版	分担執筆：第3章『カラダの機能』；14節「筋収縮」，15節「活動電位」，16節「振戦」（伊東太郎）
3. 多関節運動学入門 第2版	共	2012年03月	編者 山下謙智；共著 山下謙智，伊東太郎，東隆史，徳原康彦、ナップ社	分担執筆：第8章「体性感覚と運動に付随する姿勢調節」，第9章「身体の機能低下と動的姿勢調節の変化」，および第10章「歩行運動－糖尿病性末梢神経障害患者における歩行－」（伊東太郎）
4. 多関節運動学入門	共	2007年02月28日	編者 山下謙智；共著 山下謙智，伊東太郎，東隆史，徳原康彦、ナップ社 pp119-169	分担執筆：第8章「運動中に付随する姿勢調節と体性感覚」，第9章「高齢者の転倒と先行随伴性姿勢調節との関連」（伊東太郎）
5. 『身体運動のバイオメカニクス』第13回日本バイオメカニクス学会大会論集	共	1997年03月	編者 岡田守彦 筑波大学体育科学系発刊 167～172頁	分担執筆：各種動作時間での一歩踏み出し動作における見越し活動の様式について（伊東太郎，山下謙智，東隆史）
6. 『ジャンプ研究』第10回バイオメカニクス学会大会論集 編者	共	1990年05月	編者 大道等 メディカルプレス社 140～146頁	分担執筆：連続跳躍運動の筋電図的研究－ホッピング（連続片脚跳）跳躍中の一側の脚の働きについて－（伊東太郎）
7. 『スポーツパフォーマンスの環境』第9回日本バイオメカニクス学会大会論集	共	1988年07月	編者 渡部和彦 杏林書院 229～236頁	分担執筆：三段跳の筋電図的研究－上肢および躯幹が連続跳躍に及ぼす影響について－（伊東太郎，徳山廣）
8. 『動きのコツを探る』第8回日本バイオメカニクス学会大会論集	共	1986年07月	編者 石井喜八 杏林書院 107～112頁	分担執筆：躯幹の基本動作に関する基礎的研究－躯幹の後方伸展の筋電図的分析－（大塚恭子，伊東太郎，徳山廣）
2 学位論文				
1. The relationship between anticipatory postural adjustments and motor performance in a standing position in humans	単	2004年07月26日	京都工芸繊維大学 論文博士学位論文 [博士(学術)]	指導教官 山下謙智
3 学術論文				
1. Foot elevation method fails to explain increased	共	2025年7月	Research Institute for Women's Career	Yuka Miura, Taro Ito

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
trailing limb obstacle contact risk. (査読付)			Advancement and Gender Equality Development 3,1-8	
2. 三段跳試技前に導入する助走付五段跳の即時的効果 (査読付)	共	2023年3月	健康・スポーツ科学 Vol.13 No.1	恵良和鈴・伊東太郎・熊野陽人・永原 隆・前田 明
3. 足底への荷重と頸部への振動刺激が立位時の重心動揺に及ぼす影響 —busy-line effectの影響— (査読付)	共	2020年3月	健康・スポーツ科学 Vol.10 No.1	三浦有花, 伊東太郎
4. トランポリン競技の踏切における筋活動と滞空時間との関連 (査読付)	共	2017年8月18日	体育・スポーツ科学 26:31 - 36	松島 正知, 中西 増代, 中西 康人, 植杉 優一, 矢野 澄雄, 伊東太郎
5. 軽症糖尿病性末梢神経障害患者の歩行における足圧と下腿筋電図の特徴 (査読付)	共	2017年07月1日	日本健康体力栄養学会誌	植杉優一, 中西増代, 中西康人, 松島正知, 伊東太郎
6. High-intensity, low-frequency, short-duration training positively impacts work capacity and cardiorespiratory fitness. (refree)	共	2016年02月	Jpn Journal of Health, Fitness, and Nutrition (20(1):pp. 35-41)	Nakanishi Y, Inoue Y, Ito T, Inoue S, Murakami T, Nethery VM
7. Control of Precision Grip Force in Lifting and Holding of Low-Mass Objects. (refree)	共	2015年09月	PLoS One. 10(9)	Hiramatsu Y, Kimura D, Kadota K, Ito T, Kinoshita H.
8. Exercise intensity differentially impacts sensitivity thresholds to specific tastes. (referee)	共	2015年06月	Journal of Biology of Exercise (Volume 11(1), pp69-80)	Yasuto NAKANISHI, Yoshimitsu INOUE, Taro ITO, Vincent Nethery
9. 糖尿病性末梢神経障害患者の歩容の分析	単	2011年07月	ユニバーサル財団調査研究報告書「豊かな高齢社会の探求」	伊東太郎
10. 長期および短期ファットローディングが持久的運動のパフォーマンスに及ぼす影響について「(査読付)」	共	2011年04月	大阪体育学研究	南本裕介, 伊東太郎,
11. Postural stability enhances the effect of dorsal neck muscle vibration on	共	2010年04月	大阪体育学研究	Taro Ito, Takashi Azuma, Yasuhiko Tokuhara, Noriyoshi Yamashita

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
anticipatory postural adjustments when moving rapidly to a tiptoe position from a bipedal stance 「(査読付)」				
12. 投球動作時の姿勢筋の疲労回復にともなう姿勢協同筋活動の経時的変化 「(査読付)」	共	2010年04月	大阪体育学研究	伊東太郎, 南本裕介, 渡邊完児, 井上芳光, 山下謙智
13. Attenuation of the anticipatory postural adjustments in the frontal plane with the increase of the forward propulsive velocity of step initiation in humans 「(査読付)」	共	2010年04月	大阪体育学研究	Taro Ito, Takashi Azuma, Noriyoshi Yamashita
14. Changes in forward step velocity on step initiation from backward and forward leaning postures 「(査読付)」	共	2010年04月	大阪体育学研究	Taro Ito, Takashi Azuma, Noriyoshi Yamashita
15. 運動開始前の初期重心位置の変化が先行随伴性姿勢調節と運動成果に及ぼす影響について 「(査読付)」	共	2008年03月	大阪体育学研究 第46巻1-11	東 隆史, 伊東太郎, 山下謙智
16. Effects of changing the initial horizontal location of the center of mass on the anticipatory postural adjustments and task performance associated with step initiation (referee)	共	2007年08月	Gait & Posture, 26:526-531	Takashi Azuma, Taro Ito, Noriyoshi Yamashita
17. 先行随伴性姿勢調節の機能的意義 -The functional roles of anticipatory postural adjustments-	単	2006年03月	英知大学人文科学研究室紀要 第9号:1-57	伊東太郎
18. Anticipatory control related to the upward	共	2004年03月	European Journal of Applied Physiology,	Taro Ito, Takashi Azuma, Noriyoshi Yamashita

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
propulsive force during the rising on tiptoe from an upright standing position (referee)			92(1-2):186-195	
19. Anticipatory control in the initiation of a single step under biomechanical constraints in humans (referee)	共	2003年12月	Neuroscience Letters, 352(3): 207-210	Taro Ito, Takashi Azuma, Noriyoshi Yamashita
20. 相対的筋放電量からみた上水平支持「(査読付)」	共	1998年03月	日本体操競技研究会誌 第6号:69-75	金 尚憲, 川辺秀樹, 寺田光世, 伊東太郎, 山下謙智
21. ホッピング跳躍中の踏切脚の動作に関する筋電図的解析「(査読付)」	共	1992年03月	陸上競技研究 第8号:20-27	花野俊昭, 伊東輝雄, 東 隆史, 伊東太郎
22. 筋電図によるHuman locomotionの動作解析-ホッピング動作中の上下肢・躯幹の連動- 「(査読付)」	共	1991年12月	ランニング学研究 第3巻第1号:20-30	花野俊昭, 伊東太郎, 東 隆史
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. ドイツ・ケムニッツのエリート陸上クラブの指導法に息づく“ライプチヒ学派”	単	2018年11月24日～25日	第9回トレーニング科学国際集中講座”情報とエネルギーの一体性”	本講座の講義を担当した
2. 軽症糖尿病性末梢神経障害患者の歩行における足圧と下腿筋電図の特徴	単	2018年9月1日	神戸Podiatryミーティング(招待講演 於:生田神社会館)	臨床医あるいは看護師に対し、足潰瘍を発症していない軽症の糖尿病性末梢神経障害患者の歩行について、筋電図と足圧を中心にその特徴を解説した。
3. 陸上跳躍種目におけるコーディネーショントレーニング-“ライプチヒ学派”に基づくトレーニングプランの効果事例	単	2016年11月18日～20日	第7回トレーニング科学国際集中講座”情報とエネルギーの一体性”	本講座の講義を担当した
2. 学会発表				
1. 大学女子跳躍選手の連続跳躍踏切時の床反力に及ぼす空輪動作の介入効果の検証	共	2023年9月1日	日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会(同志社大学今出川キャンパス)	齋藤 遥, 伊東太郎
2. 身体の鉛直性に関する指示が立位時の重心動揺に与える影響	共	2019年09月12日	日本体育学会第70回大会(慶應義塾大学)	三浦 有花, 伊東 太郎
3. 三段跳における加速助走付五段跳の即時的效果	共	2019年06月01日	第30回兵庫体育・スポーツ科学学会大会(神戸親和女子大学鈴蘭台キャンパス)	恵良和鈴, 伊東太郎, 熊野陽人, 永原隆, 前田明
4. 立位時の足底への荷重が振動刺激による	共	2018年8月24日	第69回 日本体育学会(徳島大学)	三浦 有花・恵良和鈴・近成ひなの・伊東太郎

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
重心動揺に及ぼす影響				
5. 走幅跳選手におけるメスブラツトレーニングの有効性の検証	共	2017年10月08日	第30回 日本トレーニング科学学会大会（日本体育大学）	上垣 麻衣子, 三浦 有花, 伊東 太郎
6. 筋肉内コーディネーショントレーニングの効果	共	2017年03月12日	大阪体育学会第55回大会（関西大学）	伊藤 剛, 大藤潤也, 谷 明香, 長田結衣, 森田美希, 上垣麻衣子, 伊東太郎
7. 競泳選手の専門距離タイプからみた200m自由形における筋電図的特徴	共	2017年03月12日	大阪体育学会第55回大会（関西大学）	長田結衣, 伊藤 剛, 大藤潤也, 谷 明香, 森田美希, 上垣麻衣子, 伊東太郎
8. ソフトボール投手における着地足の床反力および下肢筋群の活動がボール速度に及ぼす影響	共	2017年03月12日	大阪体育学会第55回大会（関西大学）	森田美希, 伊藤 剛, 大藤潤也, 谷 明香, 長田結衣, 伊東太郎
9. イミダゾールジペプチド（IMDP）摂取が運動時の局所筋疲労に及ぼす影響	共	2016年08月26日	第67回日本体育学会	谷 明香, 宮本美美香, 伊藤 剛, 大藤潤也, 長田結衣, 森田美希, 中西増代, 伊東太郎
10. 柔道の太外刈における習熟度からみた釣手側の上半身および上肢帯筋群の活動様相	共	2016年08月25日	第67回日本体育学会	大藤潤也, 伊藤 剛, 谷 明香, 長田結衣, 森田美希, 伊東太郎
11. トランポリン競技の踏切における筋活動と滞空時間との関連	共	2015年08月27日	第66回 日本体育学会（国士舘大学）	松島正知, 百畑美希, 岩下由利子, 伊東太郎
12. ソフトボール投手におけるボール反力	共	2015年03月	第53回大阪体育学会（大阪産業大学）	森田美希, 木下 博, 伊東太郎
13. 大学女子競泳選手におけるバイオメカニクス的サポート	共	2015年03月	第53回大阪体育学会（大阪産業大学）	山下笑梨, 松島正知, 百畑美希, 中西増代, 生田泰志, 伊東太郎
14. 体幹筋群の断面積におけるコアトレーニングの効果	共	2015年03月	第53回大阪体育学会（大阪産業大学）	百畑美希, 木下 博, 山下笑梨, 松島正知, 脇谷滋之, 伊東太郎
15. The effects of low and high intensity exercises on four basic taste sensitivities.	共	2014年12月	The International Sport & Exercise Nutrition Conference (Northumbria University, England)	Nakanishi Y, Inoue Y, Ito T, Nethery VM
16. Grip force for holding a light object by elderly people.	共	2014年11月	Neuroscience 2014 (Walter E. Washington Convention Center, USA)	Hiramatsu Y, Kimura D, Ito T, Kadota K, Kinoshita H
17. 女子カヌースプリント実漕中の艇加速度と筋活動様相	共	2014年09月15日	第23回日本バイオメカニクス学会大会（JISS）	百畑美希, 植杉優一, 山下笑梨, 松島正知, 中西康人, 中西増代, 浅田鈴佳, 木下 博, 伊東太郎
18. 野球投球におけるボール反力	共	2014年09月14日	第23回日本バイオメカニクス学会大会（JISS）	木下博, 小幡哲史, 那須大毅, 門田浩二, 伊東太郎, 松尾知之
19. 女子カヌースプリントにおけるスタートダッシュのバイオメ	共	2014年03月16日	大阪体育学会（特別企画発表）（近畿大学）	百畑美希, 植杉優一, 小笠原一生, 伊東太郎

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
カニクスの研究 20. イミダゾールジペプチド摂取が女子学生アスリートの運動パフォーマンスに及ぼす影響	共	2013年09月23日	第68回日本体力医学会大会(東京慈恵医科大学)	宮本美美香, 村上堯之, 森上真依, 松島正知, 綱あづさ, 鈴木祐美子, 伊東太郎
21. 大学女子ソフトボール選手におけるバッティング動作の筋電図的研究	共	2013年09月23日	第68回日本体力医学会大会(東京慈恵医科大学)	森上真依, 宮本美美香, 村上堯之, 松島正知, 植杉優一, 伊東太郎
22. 競泳選手のための練習機の開発と評価についての筋電図的検証	共	2013年09月23日	第68回日本体力医学会大会(東京慈恵医科大学)	村上堯之, 山下笑梨, 渡邊文雄, 阿部洋平, 中西康人, 木下博, 伊東太郎
23. 新開発された競泳練習機のトレーニング効果について	共	2013年9月23日	第68回日本体力医学会大会(東京慈恵医科大学)	山下笑梨, 村上堯之, 渡邊文雄, 阿部洋平, 小幡哲史, 大澤智恵, 木下博, 伊東太郎
24. オールアウト運動による運動疲労が味覚感受性に及ぼす影響	共	2013年09月14日	計測自動制御学会「ライフエンジニアリング部門シンポジウム2013」	中西康人, 伊東太郎, 井上芳光, 村上堯之, 笠間基寛
25. An electromyographic study of the left hand in violin playing	共	2013年08月	International Symposium on Performance Science((Campus Vienna, Austria))	Obata S, Nakahara H, Hirano T, Ohsawa C, Okuno R, Ito T and Kinoshita H
26. 疲労姿勢筋の連続投球動作中の回復に長期トレーニングが及ぼす影響	共	2012年09月	第67 回日本体力医学会大会(岐阜大学)	伊東太郎, 植杉優一, 原 千晶, 森上真依, 中西康人, 木下 博, 井上芳光
27. 女子新体操競技におけるバランスパフォーマンスと大腰筋断面積との関係	共	2012年09月	第67 回日本体力医学会大会(岐阜大学)	原千晶, 植杉優一, 宮本美美香, 木下博, 浅田鈴佳, 脇谷滋之, 伊東太郎
28. 女子カヌー実漕時における艇加速度と上肢帯・体幹筋活動との関連	共	2012年09月	第67回日本体力医学会大会(岐阜大学)	植杉優一, 原千晶, 村上堯之, 新井彩, 小笠原一生, 田中繁宏, 伊東太郎
29. Accuracy of reaching a target key by trained pianists	共	2012年07月	12th International Conference on Music Perception and Cognition (ICMPC) & 8th Triennial Conference of the European Society for the Cognitive Sciences of Music ESCOM), Thessaloniki, Greece.	Ohsawa C, Hirano T, Obata S, Ito T, Kinoshita H
30. ピアニストのキー位置指示課題遂行 にみる鍵盤の空間的記憶	共	2012年06月	運動学習研究会	大澤智恵, 伊東太郎, 門田浩二, 木下博

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
の特性				
31. 新体操のバランス課題におけるスキル差の一要因	共	2012年03月	第50回大阪体育学会	原 千晶, 植杉優一, 小幡哲史, 木下 博, 永戸久美, 伊達萬里子, 伊東太郎
32. 女子カヌースプリント選手におけるアームエルゴメーター駆動時の筋作用機序について	共	2012年03月	第50回大阪体育学会	植杉優一, 原 千晶, 山田咲貴, 橋本千晶, 伊東太郎
33. 女子陸上競技選手を対象とした簡便法による身体組成推定式の推定精度-空気置換法を基準とした際の精度について-	共	2012年01月	近畿体力医学会	山本一八, 新井 彩, 伊田美紗子, 奥田千代, 平原麻衣子, 伊東太郎, 渡邊完児
34. 糖尿病性末梢神経障害患者の歩行における足圧と下腿筋筋電図の特徴	共	2011年09月	第66回日本体力医学会大会	植杉優一, 伊東太郎, 佐々木敏作, 原 千晶, 渡邊完児, 田中史朗
35. Expert-novice difference in string clamping force in violin playing	共	2011年07月	International Society of Biomechanics (ISB) 2011 Congresses (Brussels)	Kinoshita H, Obata S, Hirano T, Osawa C, Ito T
36. バイオリン演奏時の下顎が受ける力と顎関節への影響について	共	2011年07月	第22回日本バイオメカニズム学会	小幡哲史, 伊東太郎, 木下 博
37. 糖尿病性末梢神経障害患者の歩容-歩行中の足圧と下腿筋群の筋活動-	共	2011年03月	第49回大阪体育学会	伊東太郎, 植杉優一, 南本裕介, 渡邊完児
3. 総説				
1. まず歩くことは何かを知ろう -歩行と足病変-	単	2009年10月	臨牀看護, 10月号	
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 『UNIVAS AWARDS 2022-23』コーチ・オブ・ザ・イヤー入賞	単	2023年3月6日	一般社団法人 大学スポーツ協会「UNIVAS」	大学スポーツ協会「UNIVAS」より、2022年度における陸上競技部 監督兼跳躍コーチの成果を評価いただいた。
2. 日本学生陸上競技連合 栄章贈与（指導者）	単	2022年12月17日	日本学生陸上競技連合	跳躍コーチとして指導した船田茜理選手が、2022年8月7日に三段跳で13m81の日本学生新記録を24年ぶりに樹立した。その功として日本学生陸上競技連合から指導者賞が贈与された。
3. マスターズ陸上 参加		2012年9月～現在		
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 船田茜理選手の日本学生新記録樹立までの大学4年間におけるトレーニング	共	2023年2月	陸上競技研究（実践報告）	伊東太郎, 菅田玲奈, 中西匠
2. コーディネーショントレーニングは大学アスリートのパフォーマンス向上に貢献できるのか？-陸上競技女子選手の実践報告より-	単	2016年11月12日	第6回武庫川女子大学健康運動科学研究所シンポジウム「コーディネーション・トレーニングは体育・スポーツに何をもたらすか？」	シンポジストとして発表し、総合討論に参加した。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
3. 大学女子陸上部におけるコーディネーショントレーニングの実践と効果	単	2015年11月28日	「スポーツフォーラム2015」公益財団法人ユーハイム体育・スポーツ振興会主催	ドイツ・ライプチヒで修得したコーディネーショントレーニングについて、9ヶ月に渡る実践とその効果について報告を行った（兵庫医療大学）
4. 『運動と姿勢調整』-身体機能の低下と姿勢調節-, -体性感覚と姿勢調節-	単	2013年11月16日	公益社団法人 日本理学療法士協会 理学療法士講習会講師（理論・基本編）（担当2コマ）	大阪回生病院リハビリテーションセンター
5. The influence of fatigue caused by all-out exercise upon taste sensitivities.	共	2013年	Proceedings of Life Engineering Symposium 2013	Nakanishi Y, Ito T, Inoue S, Murakami T, Kasama M
6. 研究費の取得状況				
1. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(c)	単	2019年～2023	研究代表者	糖尿病性末梢神経障害患者の歩行の特徴と病態進行との関連
2. アジア選手権大会視察（助成）	共	2017年07月04日～11	一般財団法人 大阪陸上競技協会 「OSAKA夢プログラム」	2017アジア選手権（インド・ブバネシュワル）に女子走高跳 日本代表として3年生 秦 澄美鈴（「OSAKA夢プログラム」指定競技者）が出場した。大阪陸協「OSAKA夢プログラム」ゼネラルマネージャー上田重隆先生と随行し、秦選手の試合を観戦するとともに大会視察を全日行った。すべて大阪陸協の助成でご援助いただいた。科学研究費補助金学内奨励金として研究課題を採択して頂いた。研究課題「旧東独を参考にした陸上競技の女子跳躍におけるトップ期のトレーニングプランの最適化」
3. 平成29年度 科学研究費補助金学内奨励金 採択	単	2017年6月15日～2018年2月15日	武庫川女子大学	2017年12月4日～13日まで、ドイツザクセン州ケムニッツエリート陸上クラブにおいて、旧東独時代からの跳躍コーチHarry Marusch氏のインタビュー調査を中心に実施した。
4. アジア陸連主催アジアグランプリ視察（助成）	共	2017年04月22日～5月1日	一般財団法人 大阪陸上競技協会 「OSAKA夢プログラム」	2017アジアグランプリ（全3戦。中国金華市、中国嘉興市、台湾台北市）に女子走高跳 日本代表として3年生 秦 澄美鈴（「OSAKA夢プログラム」指定競技者）が出場した。大阪陸協「OSAKA夢プログラム」ゼネラルマネージャー上田重隆先生と随行し、試合を視察するとともに秦選手のサポート、コーチングを実施した。大阪陸協の助成でご援助いただいた。
5. 第11回トレーニング科学・国際集中講座 2015兵庫県スポーツ指導者派遣事業助成	単	2015年02月26日～03月11日	研究代表者	ドイツ/ライプチヒ大学（派遣:ユーハイム体育・スポーツ振興会助成）
6. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(c)	単	2013年～	研究代表者	競泳練習機トレーニングによる実泳時の疲労緩衝効果に関する筋電図的検証
7. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(c)	共	2011年～2015年	研究分担者	運動強度・運動量と味覚感受性との関係および加齢がその関係に及ぼす影響
8. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(c)	共	2011年～2012年	研究代表者	姿勢協同筋を中心とした神経系システムの補償的作用ならびにその加齢的变化
9. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(c)	共	2010年～2015年	研究分担者	軽量小物体の精密把握運動における把握力制御について

学会及び社会における活動等

年月日	事項
	日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本陸上競技学会